

議会だより しずし /

編集・発行/酒々井町議会

〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-496-1171 (代表)



No.213

令和6(2024)年11月15日発行

写真/10月10日

栃木県高根沢町議会へ行政視察を実施



議員定数の削減など議会改革に関する事項を、高根沢町議会議長をはじめ、議会事務局職員から説明を受けました。



議会HPは
こちらから
Check!

9月
定例会

令和5年度決算及び議案審議等・・・・・・・・・・P2~P8

委員会・本会議での審議結果・・・・・・・・・・P9~P12

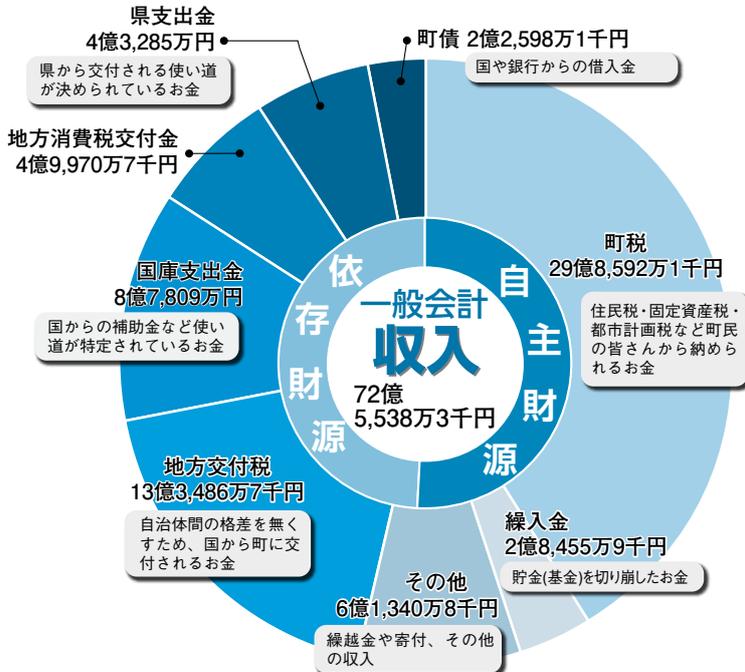
一般質問 議員12人が町政を問う・・・・・・・・・・P13~P19

裏表紙

子ども模擬議会代表者に聞きました・・・・・・・・・・P20

9月定例会

令和5年度決算認定
歳入微減歳出増

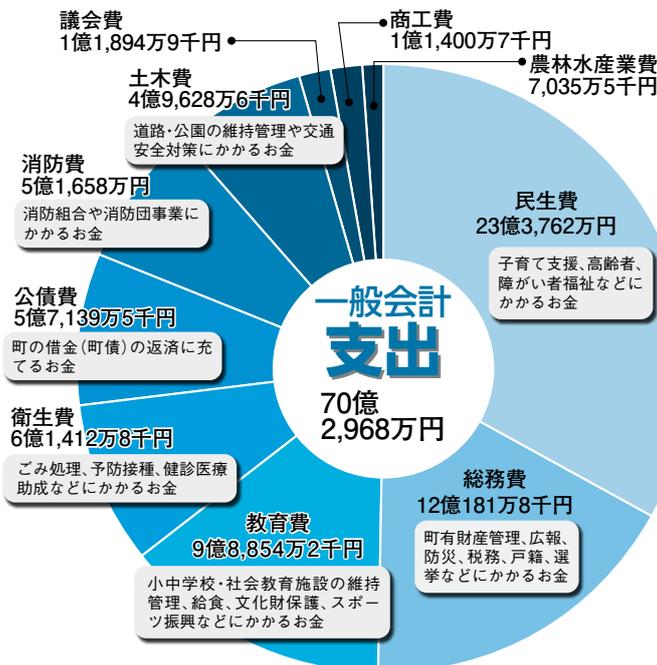


依存財源: 35億5,275万8千円 (48.9%)

自主財源: 37億262万5千円 (51.1%)

令和5年度歳入(収入)の概要

- ▶ 町 税…前年度比 2,126 万 3 千円の増額
- ▶ 地方交付税…前年度比 1 億 832 万 1 千円の増額
- ▶ 国庫支出金…前年度比 1 億 6,943 万 1 千円の減額
- ▶ 県 支 出 金…前年度比 3,547 万 7 千円の増額
- ▶ 町 債…前年度比 760 万 8 千円の減額
- ▶ 繰 入 金…財政調整基金からの繰入が減少したことにより、前年度比 1 億 3,010 万 6 千円の減額



令和5年度各会計決算については、議員6名による「決算審査特別委員会」が3日間にわたり開催され、執行部からの詳細な説明を受けるとともに、厳正な審査を行いました。

決算審査特別委員会の審査結果報告を受け、審議の結果、各会計決算はいずれも原案のとおり認定されました。

令和5年度歳出(支出)の概要



第6次総合計画・前期基本計画の2年目となる令和5年度。計画期間の5年間で特に力を入れて推進すべきとして掲げた3つの重点テーマ「安全・安心」「郷土力」「将来の息吹」。これらの実現を目指し、まちづくりの基本目標として7つの政策分野にまとめられています。

令和5年度に実施された事業などの一部を基本目標ごとに紹介します。

目標1



誰もが健やかに暮らせる、支え合いのまちづくり(健康・福祉・子育て)

- ▶ 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業(低所得世帯追加給付) 1億1,821万円
- ▶ 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業(低所得世帯分) 5,080万円
- ▶ 子ども医療費助成事業 5,998万円
- ▶ 障害者福祉事業 4,534万円
(重度心身障害者医療給付事業・福祉タクシー事業・紙おむつ等購入助成事業など)
- ▶ 老人福祉事業 2,515万円
(はりきゅうマッサージ等施術利用料助成事業・高齢者外出支援タクシー事業など)

目標2



人権と学びが尊重され、豊かな心と歴史・文化が香るまちづくり(教育・文化)

- ▶ 墨古沢遺跡保存整備事業 7,457万円
- ▶ 本佐倉城跡保存整備事業 982万円
- ▶ 公民館管理事業 1,726万円
- ▶ プリミエール管理事業 2,594万円
- ▶ 放課後児童クラブ事業 5,336万円
- ▶ スクールバス運行业務委託事業 1,381万円
- ▶ 町立小・中学校修学旅行費補助金 150万円

目標3



豊かな日常を守る、安全安心なまちづくり(生活安全)

- ▶ 消防団事業 1,344万円
- ▶ 消防施設事業 1,395万円
(消防団装備品や消防機庫、消防車の維持管理など)
- ▶ 防災一般事務費 280万円
(備蓄品等の整備や土砂災害ハザードマップ作成など)
- ▶ 交通安全推進啓発事業 46万円
- ▶ 防災行政無線管理整備事業 533万円
- ▶ 防犯街灯事業 2,446万円
- ▶ 交通安全対策事業 1,076万円
- ▶ 防犯ボックス事業 1,031万円
- ▶ 防犯事業 381万円

目標4



自然と共存し、環境に負荷をかけないまちづくり(環境共生)

- ▶ 環境衛生対策事業 2,192万円
(葬祭組合管理運営の経費や飼い犬の登録管理・狂犬病予防注射の啓発など)
- ▶ 地球温暖化対策推進事業 527万円
(家庭での地球温暖化対策促進のため電気自動車の購入や蓄電池システムの設置等に補助金の交付など)
- ▶ じん芥処理事業 1億8,806万円
(清掃組合管理運営の経費や一般家庭ゴミの収集運搬、コンポストや機械式生ゴミ処理機購入への補助金交付など)
- ▶ し尿処理事業 1,578万円
(衛生施設管理組合管理運営の経費や補助対象区域内に高度処理型合併浄化槽等設置への補助金交付など)

目標5



便利で快適な、歩いて暮らせるまちづくり(都市基盤)

- ▶ 道路維持事業 6,726万円
(舗装補修、側溝清掃、除草など町道の維持管理)
- ▶ 駐輪場事業 1,690万円
- ▶ 住宅リフォーム補助事業 226万円
- ▶ 道路改良新設事業 1,041万円
- ▶ 総合公園管理事業 1,893万円
- ▶ 街区公園管理事業 2,103万円
- ▶ 社会資本整備総合交付金事業(道維)
(町が管理する橋梁の補修工事や補修に伴う設計業務、橋梁長寿命化修繕計画の見直し) 8,419万円

目標6



活気と魅力にあふれ、にぎわいのあるまちづくり(産業・経済)

- ▶ 農業振興管理事業 893万円
(肥料等物価高騰対策農業者助成金の支給など)
- ▶ 商工業振興事業 406万円
(原油価格高騰対策助成金の支給、町商工会への補助金交付など)
- ▶ コミュニケーションセンター事業 765万円
- ▶ コミュニティプラザ運営事業 1,865万円
- ▶ ハーブガーデン運営事業 913万円
- ▶ まるごとしすい運営事業 1,184万円
- ▶ 観光事業 206万円

目標7



多様な主体との連携により、地域の力で紡ぎだすまちづくり(地域生活・行財政)

- ▶ 公園等愛護活動推進事業 210万円
- ▶ 地区集会所等補助事業 1,166万円
- ▶ 自治振興事業 707万円
- ▶ 隣保館運営事業 1,051万円
- ▶ 情報化推進事業 4,371万円
- ▶ 庁舎管理事業 2,276万円

令和5年度各会計決算額

区分	収入（歳入）		支出（歳出）		
	令和5年度	令和4年度 前年度比較	令和5年度	令和4年度 前年度比較	
一般会計	72億 5,538万 3千円	72億 7,503万 7千円 △ 1,965万 4千円	70億 2,968万円	67億 9,563万 8千円 2億 3,404万 2千円	
特別会計	国民健康保険	21億 867万 2千円 △ 1,082万 1千円	20億 9,482万円	20億 8,134万 4千円 1,347万 6千円	
	介護保険	15億 6,625万 8千円	14億 7,605万 2千円 9,020万 6千円	14億 2,378万 2千円 1億 488万 8千円	
	後期高齢者医療	3億 7,402万 9千円	3億 5,271万 7千円 2,131万 3千円	3億 3,901万 6千円 △ 1,294万 4千円	
公営企業会計	水道事業	収益	4億 8,340万 4千円 △ 1,779万 2千円	5億 119万 6千円 4,710万円	4億 2,911万円 4億 1,053万 4千円 1,857万 6千円
		資本	3億 9,261万 7千円	3億 4,551万 7千円	5億 2,514万 2千円 2億 423万 7千円 3億 2,090万 5千円
	下水道事業	収益	3億 6,323万 2千円	3億 6,717万 5千円 △ 394万 3千円	4億 2,527万 3千円 4億 2,124万 2千円 403万 1千円
		資本	9,055万 7千円	7,198万 9千円 1,856万 8千円	1億 8,868万 8千円 1億 9,860万 6千円 △ 991万 8千円

■ 一般会計の状況 ■

決算額は、歳入総額72億5,538万3千円、歳出総額70億2,968万円、差引き2億2,570万3千円の黒字となり、翌年度へ繰り越すべき財源4,952万4千円を差し引いた実質収支額は、1億7,617万9千円となりました。

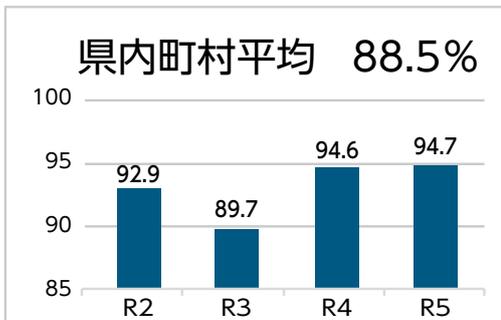
これを前年度の歳入総額72億7,503万7千円、歳出総額67億9,563万8千円と比較すると、歳入において1,965万4千円、0.3%の減。歳出においては、2億3,404万2千円、3.4%の増となりました。



町の財政状況

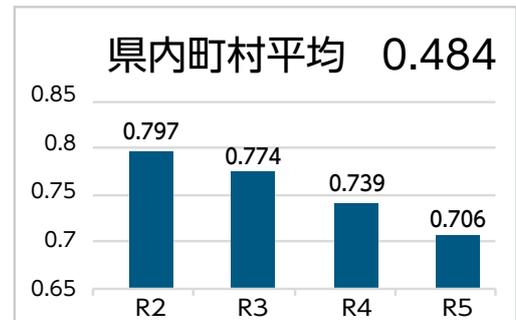
経常収支比率 94.7%

数値が低いほど財政の弾力性が高く、余力がある。（単位：%）



財政力指数 0.706

数値が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い。



自主財源比率 51.1%

歳入全体に占める自主財源の割合のことで、前年度と同値。

実質公債費比率 5.7%

早期健全化基準の25%を下回っている状況で健全。

将来負担比率 4.0%

早期健全化基準の350%を大幅に下回っている状況で健全。

決算特別委員会での意見・要望事項

【決算審査特別委員会】

委員長：齊藤 博

副委員長：地福美枝子

委員：金塚 学・小早稲美穂・木内 信子・小坂 和也

一般会計

- ふるさと納税の実施に際し、町特産品の周知及び地域経済活性化を図るため、関係課や各団体等との連携を強化されたい。
- 町ホームページは、従前に比べ見やすさは改善されたが、検索のしやすさ向上に努められたい。
- 下宿ベースは、「酒の井の碑」に隣接しているが、鍵が施錠されているため、トイレ利用ができない。下宿ベースの通常の利用方法と併せて、誰もが利用しやすい施設となるよう改善されたい。
- 公園等愛護活動推進事業により管理されている公園に、管理されている団体名を記載した看板を設置し、美化意識の向上や地域コミュニティの形成などに努められたい。
- ふれ愛タクシーについては、土日祝日の運行の可能性について検討されたい。また、スクールバスについては、運行される対象地域も決まっており、新たに希望される地区が対応することができないので、ふれ愛タクシーとスクールバスを別々の車両にするなど運行方法の見直しを検討されたい。
- 緊急通報装置の貸与事業については、希望される全ての方が利用できるよう検討されたい。
- 墨古沢遺跡については、有識者による整備活用委員会を開催されているが、まちづくりに関する有識者や近隣施設の管理者なども含めた中で利活用を検討されたい。また、多額の事業費を要することから、事業を推進していく際には、住民に対し丁寧な説明をし、理解が得るよう努められたい。
- 除草予算については、町の責務として創意工夫の上、対応していただきたい。



令和5年度決算に関する討論

物価高騰の中で、国や県、町が住民の暮らしや健康を守るために最優先で、私たちの税金を使うべきだと思う。緊急通報装置の利用拡大・補聴器の補助・带状疱疹ワクチン補助など、これらは、多額に予算がかかるほどでもないが、実現に至っていない。学校給食費については、経費のみの議論で残念だ。購入した土地をどのように活用していくのかの説明は、納得のいくものがない。見通せない状況があることは理解できるが、だからこそ購入、売却は慎重にすべきだ。また、国の方針のマイナバ

ー政策による維持管理費が国から出ているが、町負担につながるものだ。国保・介護・後期高齢者の3つの特別会計決算については、その仕組みからやむを得ない点もあるが、保険料が高く町民の負担となっている。

対
反
住民の暮らしや健康
を守ることが最優先

請願第9号

地福美枝子議員

討論

9月定例会

議案審議

9月定例会 補正予算この事業に注目!

9月定例会概要

9月定例会は、9月3日から10月4日までの32日間の会期で開催されました。

町長から提案された議案20件、諮問1件、議員から提案された発議案2件について、それぞれ審議を行いました。審議の結果は、10頁から12頁でご確認ください。

報告では、町長から次の2点がありました。

①「令和5年度酒々井町一般会計予算継続費精算報告書について」

②「酒々井町の財政の健全化判断比率及び資金不足比率について」

一般質問では、12名の議員が3日間にわたり行い、まちづくりや地域振興、子育て支援など町政全般について質問しました。

議案審議

9月定例会で審議された議案の中から注目議案をご紹介します。

(審議の結果は9頁〜12頁に掲載)

議案第12号

一般会計を増額補正

今回の補正は、歳入歳出それぞれ2億8311万2千円を増額し、補正後の予算額を76億3848万5千円とするもの。

《全員賛成で可決》



庁舎管理事業

現在役場庁舎で使われている代表電話を、令和7年4月からダイヤルイン化するための工事に係る経費を増額補正



167万円

子ども医療費助成事業

令和7年1月診療分から高校生等の医療費の助成を行うための増額補正



119万円

予防接種事業・感染症予防対策事業

コロナウイルス感染症のワクチン接種に伴う通知の発送や医療機関への業務委託に係る経費を増額補正



2,364万円

防犯街灯事業

町内に設置されている防犯街灯のうち、町管理分のLED化の現地調査及び管理システム整備を行うための増額補正



832万円

議案第18号 財産の取得について

酒々井町消防団の機能強化を図り、第8分団(中川地区)及び第11分団(伊篠地区)の老朽化した小型動力ポンプ積載車2台を更新するため、議会の議決を求めるもの。

《全員賛成で可決》

議案第19・20号 財産の取得について(追認)

令和2年4月1日及び令和6年4月1日に契約を締結した小学生向け教科書に係る教師用指導書の購入事業において、地方自治法第96条第1項第8号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の所得又は処分に関する条例第3条の既定により、予定価格700万円を超える財産の取得については、議会の議決を経て取得すべきところ、議会の議決を経ずに物品の買入れを行っていたため、当該買入れの追認について、議会の議決を求めるもの。

《全員賛成で可決》

諮問第1号
人権擁護委員に
柳橋康代氏を推薦



柳橋 康代
人権擁護委員

人権擁護委員の柳橋康代委員が、本年12月31日に任期満了となることに伴い、人権問題に深い理解があり、人権擁護委員として実績のある柳橋氏を引き続き候補者として推薦するため、議会に意見を求めるもの。
《全員賛成で適任》
任期は、令和7年1月1日より2年。

成 賛
町民の健康・安全・安心の
条例・予算について賛成

小早稲 美穂 議員

議案第1号は、災害応急作業等の手当として特殊勤務手当を人事院規則の改正により行うもの。

討 論

議案第1・12・17号

の。酒々井町及び他市町村等の災害時、派遣先等で従事した場合に適用されるもので、いつ起こるか解らない災い、職員一人ひとりのスキルを上げ、もしもの災害時に酒々井町民を守る頼れる存在となってもらえるよう期待する。

更に、議案第12号では、これまでの高校生等医療費助成制度の高校生等のお子さんの入院に係る保険適用分の医療費助成に加え、令和7年1月より中学生以下同様に高校生等への通院費用も助成することが決められた。また、議案第17号、近年の自然現象は、豪雨・浸水等で避難者が増え被害が深刻化している町民の安全・安心のためにも早急に整備をお願いし賛成する。

報 告

報告第1号

一般会計予算継続費精算
報告書を議会に報告

令和3年度から令和5年度までの継続事業として実施した「固定資産評価基礎資料整備及び土地評価業務」及び令和4年

度から5年度までの継続事業として実施した「地球温暖化対策実行計画策定支援業務」「都市計画マスタープラン及び立地適正化計画見直し業務」「歴史的建造物利活用計画策定業務」が終了したことから、規定により議会に報告するもの。

報告第2号
財政健全化判断比率
などを議会に報告

令和5年度決算に基づく財政健全化判断比率及び資金不足比率について監査委員の意見を付けて議会に報告するもの。

内容は、一般会計と公営企業会計を含む全会計で赤字額は無く、早期健全化の基準値を大きく下回っていることから、健全段階にあることを報告するもの。

意見書

発議案第1号

日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める
意見書の提出について

核兵器禁止条約の参加・調印・批准を日本政府に求める意見書

が、提出者地福美枝子議員他賛成者6名の議員から提出された。

《賛成少数で否決》

広島と長崎にアメリカの原子爆弾が投下されてから72年を経た2017年7月7日、歴史的な核兵器禁止条約が採択された。同年9月20日には同条約への調印・批准・参加が開始され、2021年1月22日に発効した。2024年1月現在、93か国が署名し、70か国が批准している。核兵器禁止条約は、核兵器について、破棄的な結末をもたらす非人道的な兵器であり、国連憲章、国際法、国際人道法、国際人権法に反するものであると断罪している。条約は、開発、生産、実験、製造、取得、保有、貯蔵、使用とその威嚇に至るまで、核兵器に関わるあらゆる活動を禁止している。条約は、爆者や核実験被害者への援助を行う責任も明記している。核兵器禁止条約は、被爆者とともに私たち日本国民が長きにわたり熱望してきた核兵器完全廃絶につながる画期的なものである。この核兵器禁止条約の規範力を強化し、核兵器の使用を防

ぐことが強く求められている。2022年2月24日、ロシアのプーチン大統領は、ウクライナへの軍事侵略に合わせ、「ロシアは世界で最も強力な核保有国の一つだ。わが国を攻撃すれば壊滅し、悲惨な結果になる」と核兵器による威嚇を行った。その後も繰り返し核兵器使用の脅迫を行いながら侵略を続けている。これは、核兵器の使用・威嚇を禁じた核兵器禁止条約に明確に違反するものである。いまこそ広島、長崎の原爆を体験した日本政府は、核兵器の使用を許さず、核兵器を全面的に禁止させる先頭に立たねばならない。その証として、核兵器禁止条約に参加・調印・批准することを強く求めるもの。

- 提出者 地福美枝子 議員
- 賛成者 川島 邦彦 議員
- 齊藤 博 議員
- 竹尾 忠雄 議員
- 木内 信子 議員
- 白井 則邦 議員
- 御園生活士 議員



討 論

賛 成
発議案第1号
日本の参加が
多くの国を勇気づける

竹尾 忠雄 議員

原爆が落とされて、多くの貴重な命が亡くなった。今年79年を迎えるが、未だに多くの被爆者の方々が苦しんでいる。その上、長い裁判をやりながら闘っているというまさに非人道的兵器が核兵器である。

そのため、国連でも多くの国々が賛成し、禁止条約が出来上がった。この条約は被爆者や核実験被害者への援助を行う責任も明記されている。世界で唯一の被爆国である日本は、これまで被爆者の医療に携わり、様々な知見を持っている。そのため、日本政府が署名、批准をして、被爆者の救済のためにも、日本で培った知見を生かす意味でも、日本はこの条約に参加すべきであり、それが多くの世界の国々を勇気づけることではないか。

発議案第2号
米の安定供給と食料
支援を求める意見書

米の安定供給と食糧支援を日本政府に求める意見書が、提出者竹尾忠雄議員他賛成者2名の議員から提出されました。

《賛成多数で可決》



世界的な食料の需給ひっ迫と円安などにより、食料品の値上げが相次ぐ中、米不足と米価の値上がりが生活苦に追い打ちをかけている。

いま、主食の米が不足するところがないよう対策を取り、消費者は「安心して食べ続けられる」農家は「安心して作り続けられる」食料政策の実現が求められている。

しかし、この間、米の消費が増える傾向が続いているにもかかわらず、政府は、主食米の生

産を減らしてきた。多くの国で行われている価格保障・所得補償によって農家の収入を支える政策が求められている。

- 1、子ども食堂などに行っている政府備蓄米の年齢制限を撤廃し、社会福祉協議会やフードバンクへの拡大するなど、食料不足への不安を解消すること
- 2、新たに食糧支援制度を創設すること
- 3、米を増産し、不測の事態に備えた十分な米を備蓄へと拡充すること
- 4、農家が安心して米を生産し、国民に安定供給できる政策に転換すること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出するもの。

(提出者) 竹尾 忠雄 議員
地福 美枝子 議員
川島 邦彦 議員



各常任委員会での 審査結果

◎…委員長 ○…副委員長

総務常任委員会

■総務課、企画財政課、税務住民課、くらし安全協働課、会計室、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、その他の事務についての審査を担当

委員 ◎小早稲 / ○地福 高崎 / 御園生 酒瀬川

	件 名 (件名は一部省略)	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第1号	酒々井町一般職の職員の給与等に関する条例及び酒々井町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	4	0	原案可決
議案第12号	令和6年度町一般会計補正予算(第3号) ※委員会担当分野	4	0	原案可決

各常任委員会での 審査結果

◎…委員長 ○…副委員長

教育民生常任委員会

■健康福祉課、教育委員会に
ついての審査を担当

委員 ◎大石／○白井
川島／木内
岡野／小坂

	件名 (件名は一部省略)	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第2号	酒々井町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	5	0	原案可決
議案第3号	酒々井町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	5	0	原案可決
議案第4号	酒々井町立保育園設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について	5	0	原案可決
議案第5号	酒々井町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	5	0	原案可決
議案第6号	酒々井町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	5	0	原案可決
議案第7号	酒々井町地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	5	0	原案可決
議案第8号	千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について	5	0	原案可決
議案第12号	令和6年度町一般会計補正予算(第3号) ※委員会担当分野	5	0	原案可決
議案第13号	令和6年度町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	5	0	原案可決
議案第14号	令和6年度町介護保険特別会計補正予算(第1号)	5	0	原案可決
議案第15号	令和6年度町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	5	0	原案可決

経済建設常任委員会

■経済環境課、まちづくり課、
上下水道課、文化観光課、農業
委員会についての審査を担当

委員 ◎江澤／○竹尾
齊藤／金塚
綿貫

	件名 (件名は一部省略)	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第12号	令和6年度町一般会計補正予算(第3号) ※委員会担当分野	4	0	原案可決
議案第16号	令和6年度町水道事業会計補正予算(第1号)	4	0	原案可決
議案第17号	令和6年度町下水道事業会計補正予算(第1号)	4	0	原案可決

本会議での 議決結果

賛成・・・○ 反対・・・× 欠席・・・欠 (議長は採決に加わりません)

議案番号	9月定例会 件名と主な内容 (件名は一部省略)	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		採決結果	小坂	岡野	綿貫	木内	小早稲	白井	大石	酒瀬川	金塚	御園生	川島	齊藤	竹尾	地福	江澤	高崎議長
<条例の制定等>																		
1	酒々井町一般職の職員の給与等に関する条例及び酒々井町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について …人事院規則の改正に伴い、災害発生時の応急作業等に従事した職員に支給する特殊勤務手当を新設するため、条例の一部を改正するもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	酒々井町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	酒々井町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	酒々井町立保育園設置に関する条例の一部を改正する条例の制定について …議案第2号～4号 こども家庭庁設置法の施行による関係法令の整備及び、子ども・子育て支援法施行令の改正に伴い、関連する町条例の一部を改正しようとするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	酒々井町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について …放課後児童健全育成事業の実施について、こども家庭庁の放課後児童健全育成事業実施要綱の制定に伴い、条例の一部を改正するもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	酒々井町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について …国民健康保険法の改正により、令和6年12月2日から被保険者証が廃止されることに伴い被保険者証の返還に応じない者に対する10万円以下の過料の既定が削られることとなったため、当該改正に準じて条例の一部を改正するもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	酒々井町地域包括支援センターにおける包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について …介護保険法施行規則及び指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定会議予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準の一部を改正する省令の施行に伴い、所要の改正を行うもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

本会議での議決結果

賛成・○ 反対・× 欠席・欠席 (議長は採決に加わりません)

議案番号	9月定例会 件名と主な内容 (件名は一部省略)	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		採決結果	小坂	岡野	綿貫	木内	小早稲	白井	大石	酒瀬川	金塚	御園生	川島	齊藤	竹尾	地福	江澤	高崎議長
<規約の制定に関する協議>																		
8	千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について …高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正に伴い、千葉県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約の別表第1中「被保険者証及び資格証明書」を「資格確認書等」に改めることについて、地方自治法第291条の3第1項の既定による関係地方公共団体との協議を行うに当たり、同法第291条の11の既定により、議会の議決を求めるもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<令和5年度決算認定>																		
9	令和5年度酒々井町一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定について …各会計の令和5年度歳入歳出決算を監査委員の意見を付して認定するもの。	認定 賛13・否2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
10	令和5年度酒々井町水道事業会計決算の認定について …水道事業会計の令和5年度歳入歳出決算を監査委員の意見を付して認定するもの。	認定 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	令和5年度酒々井町下水道事業会計決算の認定について …下水道事業会計の令和5年度歳入歳出決算を監査委員の意見を付して認定するもの。	認定 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<令和6年度補正予算>																		
12	令和6年度酒々井町一般会計補正予算(第3号) …合計2億8,311万2千円を追加、補正後の予算額を76億3,848万5千円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	令和6年度酒々井町国民健康保険特別会計補正予算(第2号) …令和5年決算の確定に伴うもの及び令和6年度国民健康保険事業費納付金額の決定に伴うもの等を補正するため、2,117万3千円を減額し、補正後の予算額を21億1,866万5千円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	令和6年度酒々井町介護保険特別会計補正予算(第1号) …令和5年決算の確定に伴うものを補正するもので、4,944万6千円を増額し、補正後の予算額を16億5,232万3千円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	令和6年度酒々井町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) …令和5年決算の確定に伴うものを補正するもので、3,507万9千円を増額し、補正後の予算額を4億5,406万2千円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	令和6年度酒々井町水道事業会計補正予算(第1号) …収益的支出及び資本的支出について、人事異動及び酒々井町一般職の職員の給与等に関する条例の改正に伴い、収益的支出を23万9千円を増額し、補正後の予算を5億1,226万8千円とし、資本的支出について142万8千円増額して補正後の予算を4億825万1千円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

本会議での 議決結果

賛成・・○ 反対・・× 欠席・・欠 (議長は採決に加わりません)

議案番号	9月定例会 件名と主な内容 (件名は一部省略)	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
		採決結果	小坂	岡野	綿貫	木内	小早稲	白井	大石	酒瀬川	金塚	御園生	川島	齊藤	竹尾	地福	江澤	高崎議長
<条例の制定等>																		
17	令和6年度酒々井町下水道事業会計補正予算(第1号) …収益的収入については、中川排水路の補修工事費分を雨水処理負担金として一般会計から繰入れすることに伴い、129万8千円を増額し、補正後の予算を3億8,232万2千円に、収益的支出及び資本的支出については、酒々井町一般職の職員の給与等に関する条例の改正に伴い、収益的支出を194万8千円増額して4億6,601万6千円に、資本的支出を7千円増額して補正後の予算を1億4,822万9千円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<財産の取得>																		
18	財産の取得について …町消防団の機能強化を図り、第8分団(中川地区)及び第11分団(伊篠地区)の老朽化した小型動力ポンプ積載車2台を更新するため、7月17日に1,909万2千円で仮契約を締結し、条例の規定により、議会の議決を求めるもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19・20	財産の取得について(追認) …令和2年4月1日及び令和6年4月1日に契約を締結した小学生向け教科書に係る教師用指導書の購入事業において、予定価格700万円を超える財産の取得については、議会の議決を経て取得すべきところ、議会の議決を経ずに物品の買入れを行っていたため、当該買入れの追認について、議会の議決を求めるもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<諮問>																		
1	[掲載：8頁] 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて …人権擁護委員の柳橋康代委員が、令和6年12月31日に任期満了となることに伴い、人権擁護委員として実績のある同氏を引き続き候補者として推薦するために議会の意見を求めるもの。	適任 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<発議案>議員提出による議案																		
1	日本政府に核兵器禁止条約の参加・調印・批准を求める意見書の提出について …広島、長崎の原爆体験をした日本政府は、核兵器の使用を許さず、核兵器を全面的に禁止させる先頭に立たねばならないため、その証として、核兵器禁止条約に参加・調印・批准することを強く求めるもの。(提出者) 地福美枝子 議員	否決 賛7・否8	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×
2	米の安定供給と食料支援を求める意見書の提出について …世界的な食料の需要ひっ迫と円安などにより、食料品の値上げが相次ぐ中、米不足と米価の値上がりが生計に追い打ちをかけていることから、新たな食糧支援制度の創設・備蓄米の年齢制限の撤廃などを強く求めるもの。(提出者) 竹尾忠雄 議員	可決 賛9・否6	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○

一般質問

町 の 考 え を 問 う

ここが聞きたい

一般質問とは、議員が、事務の執行状況や将来の方針などについての報告や説明を町長などの執行機関に求めることです。

9月定例会では、9月11日から13日までの3日間で12名の議員が登壇し、町政について質問しました。

ここでは、質問と答弁を要約した内容を質問順にお知らせします。

※今回の令和6年第5回定例会の会議録（12月上旬発行予定）は、インターネットまたは図書館でご覧いただけます。



1 (P14)	大石 法子 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 災害対応について ▶ リチウム蓄電池の廃棄について ▶ 全国学力学習状況調査について ▶ 高齢者外出支援タクシーについて
2 (P14)	小早稲 美穂 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 上下水道事業及び町内飲用井戸について
3 (P15)	白井 則邦 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 人権条例について ▶ ハラスメント対策について ▶ マイナ保険証について ▶ 子どもの居場所確保について ▶ 児童に対する性教育、生理用品の無償配布について
4 (P15)	小坂 和也 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学校の環境について
5 (P16)	江澤 眞一 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 酒々井地域防災計画について ▶ 中川調節池について
6 (P16)	川島 邦彦 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 跡地等の利用計画及び計画進行中の進捗状況について
7 (P17)	御園生 浩士 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 町施設の利用状況について ▶ 社会資本整備事業（町道 02-009 号線）について ▶ 台風7号による町の被害状況について
8 (P17)	岡野 義広 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公共交通について ▶ 防災について ▶ ランドセルについて
9 (P18)	金塚 学 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 便利で快適な、歩いて暮らせるまちづくりの推進について ▶ 安心・安全で住みよいまちづくりの推進について ▶ 誰もが健やかに暮らせるまちづくりの推進について ▶ 地域経済の振興・発展と賑わいのあるまちづくりの推進について
10 (P18)	地福 美枝子 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 生活保護について ▶ 介護保険制度について ▶ 学校給食無償化について
11 (P19)	齊藤 博 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公共施設等個別施設計画について ▶ ちびっ子天国の再活用について ▶ 町営駐車場整備計画について
12 (P19)	竹尾 忠雄 議員	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 町長の政治姿勢について ▶ 子ども医療費（18歳まで）無償化について ▶ 「体育館」、小学校「プール」の跡地活用について ▶ 青少年交流の家裁判について

※各議員の質問事項については、本誌に掲載してある質問をゴシック体で表記しています。



議会の様子（録画）を公開しています

議員下のQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

本会議録画中継
はこちらから→



問

災害協定先との定期協議は実施しているのか

答

年一回程度、協議の場を待つようにしている



大石 法子 議員



問 災害協定先との定期協議や、配慮が必要な方が安心して使える、トイレトレーラーの整備について伺う。

くらし安全協働課長 災害協定先と年一回程度、協議の場を持つようにしている。トイレは指定避難所に設置されており、一時避難所にも多目的トイレ等を設置している。

集積所でのリチウム蓄電池の回収を

問 リチウム蓄電池は小型で軽量、エネルギー効率が高く経済性に優れていることから、様々な身の回りの製品に普及しているが、並行して適正に廃棄されないことがあり、全国で火災事故等が発生している。集積所での廃棄ができるようにならないか。

経済環境課長 リチウム蓄電池は、販売店での引き取りや経済環境課窓口を設置している専用ボックスで回収している。集積所での回収は収集業者や清掃組合など関係者の意見を伺いながら、コスト面を含めて検討していきたい。

CBT化の取り組みは

問 文部科学省は全国学力学習状況調査で来年度から、CBT化すると発表

した。CBT化の目的と具体的な内容、生徒の入り方がそれに対応できるのか、また、他教科、小学生の今後の実施見通しを伺う。

学校教育課長 CBT化により、動画、音声や表計算機能等での利用など、多様な方法での出題、解答が可能等になる。児童生徒はタイピング能力の向上にも取り組んでおり、来年実施される調査には、生徒が十分に対応できると考えている。また、令和9年度から小学校6年生のCBT化の実施を予定しており、各教科のスケジュールが公表されている。

タフシー利用助成券の利用改善を

問 高齢者外出支援タクシーの利用において、現行の500円つづりを100円つづりに改正できないか。また、1回の利用制限を廃止できないか。

健康福祉課長 現在は500円券を月4枚、年間最大48枚交付しており、100円単位にするとう交付枚数が更に増え、利用者の管理負担等を考えると難しいものと考えます。1回の利用制限については、変更を検討していく。

問

下水道使用料の改定は

答

増額改定はやむを得ないと運営審議会から答申が示された



小早稲 美穂 議員



問 令和6年2月、町は上下水道事業運営審議会に「下水道使用料の在り方」について諮問され、その後、答申が出された。累積赤字の解消と独自財源の確保を目標に、改訂方針を策定されていると思うが、方向性を伺う。

町長 約半年に及ぶ審議を経て、本年2月に安定した事業継続のために使用料増額改定はやむを得ないとする旨の答申が示された。

問 有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）は消火剤やフライパンのコーティング剤として使用されてきた。国は全ての水道事業者に実態調査を要請した。町では上水を取水している箇所

の水質検査を毎月行っており、更に検査項目にはフッ素とその化合物の検査をしている。令和6年のこれまでの結果と水の安全性について伺う。

上下水道課長 町では年一回調査を実施しているが、国が定める基準値を大幅に下回っており、水道水の安全は確保されている。

問 町の水道水に5パーセントほど受水している印旛広域水道は、利根川が原水であるが、安全性を伺う。

上下水道課長 印旛広域水道では年2回の水質検査を実施しており、安全な状況であると報告を受けている。

問 酒々井の井戸水を使用した、ペットボトル「酒々井の水」についても安全性が確認されているか伺う。

上下水道課長 ペットボトル「酒々井の水」は町で供給している源泉水と同じものなので、安全なものと認識している。

問 町内には上水が通っておらず、井戸を生活用水としている家庭もあるが、飲用井戸の水質検査について伺う。また、家庭用飲用井戸の有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）の検査の広報について伺う。

経済環境課長 家庭用井戸の水質検査は義務ではないが、町ホームページで井戸水の検査について案内している。有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）の検査の案内については、広報等について検討していく。

問 マイナ保険証の利用率は

答 国民健康保険で
9.26%となっている

問 マイナンバーカードは5年更新が必要だが、更新しなかった場合、マイナ保険証はどうなるのか。

健康福祉課長 電子証明書の有効期限が切れた方には、期限切れ後3か月間は、マイナ保険証として引き続き利用できる予定であるが、3か月を経過した場合は、本人の申請によらず、職権により資格確認書を交付する予定である。

問 マイナ保険証の利用率は。

健康福祉課長 酒々井町国民健康保険は令和6年6月1日時点で、9.26パーセントとなっている。

人権条例の制定をすべき

問 様々な自治体で、人権を尊重し、あらゆる差別の解消に関する人権条例の制定が進んでいる。町は人権条例の制定を検討しているのか。

健康福祉課長 町は「あらゆる差別撤廃・人権尊重都市」とすることを宣言している。その他、小中学校での人権教室や人権教育セミナー開催なども実施している。人権条例の制定については、必要性などを検討していきたい。



白井 則邦 議員



子どもの居場所の確保を

問 年々夏の暑さは増し、児童は、屋内で遊ばざるを得ない状況が続いている。町は、屋内の遊び場所についてどのように考えているのか。

町長 町にも児童館設置の要望があり、検討を重ねたが、人口2万人の町での設置は合理的でないことから、乳幼児は、子育て支援センターあいあい、児童は、プリミエール酒々井を増築し、児童館的な機能を持たせたので、是非とも活用を図っていただきたい。

子どもたちに性教育の実施を

問 子どもたちが性暴力の加害者、被害者、傍観者にならないために、性教育が必要であるが、保育園や小中学校における性教育は、どのように行っているのか。

こども課長 保育園で性教育は行っていないが、何気ない日常生活や遊びの中で自然に受け止められるよう、保育士は発達を促す保育に力を注いでいる。
学校教育課長 小中学校では、学習指導要領に基づいて、保健分野の教科書を使って指導を行っている。

問 酒々井小学校と大室台小学校で教材が異なる理由は

答 教科書は同じだが、補助教材は学校によって異なることがある

問 酒々井小学校と大室台小学校で教材が異なるが、その理由を伺う。また、小学校2校で授業内容や使用教材が違うことについて保護者に説明はされているのか。

学校教育課長 教材は大きく分けて、教科書と補助教材に分かれる。教科書は町教育委員会が採択したものをを使うため、各小学校で異なることはない。

補助教材には、市販、自作を問わず、副読本、問題集、プリント等も含まれ、指導の効果を高めるため、これらは学校によって異なることがある。保護者に違いについて説明をしていないが、理由をお聞きになりたい場合は、各校の校長に問い合わせてほしい。授業内容は学習指導要領に沿って、授業しているため、授業内容が大きく異なることはない。

問 補助教材の違いによって、学力に差が生まれないのか。

学校教育課長 学校や児童生徒の実態に合わせて補助教材を選定しているので、その指摘は当たらないと考えている。

問 給食の量は小学校、中学校で違うのか。



小坂 和也 議員



問 給食の量は小学校、中学校で違うのか。

学校教育課長 給食の献立は「学校給食摂取基準」に基づき作成している。エネルギーや栄養素など、発達段階別に区分されており、その段階に応じて給食の量に違いが出ている。

問 これまで給食の廃棄量は調べているのか。

学校教育課長 廃棄量は、給食の提供毎に、学校別、品目別に計量している。

問 廃棄量の調査はその後、どのように活かされているのか。

学校教育課長 特に残りの多かったものは理由を分析し、次回以降の献立に反映させている。創意工夫しながら取り組んでいる。

問 給食の量について、生徒や保護者からの意見は届いているのか。

学校教育課長 児童生徒や保護者からの意見は数年間はいただけていない。

問

避難所となる体育館にLPガス
災害対応バルクの整備を

答

必要性やコスト等を考慮し、検討し
ていく



江澤 眞一 議員



酒々井町地域防災計画において次の
点を伺う。

問 災害時要援護者の安全確保対策を
具体的に伺う。

町長 災害時要援護者名簿に登録され
ている方で、土砂災害等警戒区域など
にお住まいの方には、自主避難所が開
設された際に健康福祉課や社会福祉協
議会等と連携し、避難の希望の有無、
移動手段の確認など行うとともに、状
況に応じて健康福祉課で巡回を実施し
ている。

問 一時避難所の開設について伺う。
くらし安全協働課長 一時避難所は、
自治会集会所等を地域避難施設として
認定することで、自治会等が自主的に
開設する制度である。町では当制度の
運用を行っていないが、運用している
自治体の事例を参考に検討していきたい。



問 小、中学校の体育館が避難所とさ
れているが、暑さ対策について伺う。

また、LPガス災害対応バルク導入補
助金を利用しての空調整備を検討すべ
きと考えるが町の考えを伺う。

くらし安全協働課長 各学校施設で所
有している冷風機とは別に、各小中学
校に1台ずつ大型冷風機を整備してい
る。避難所にLPガス災害対応バルク
が整備されることで、避難者の健康管
理や快適性の向上が図られるが、体育
館は学校施設であり、必要性やコスト
等を考慮しつつ、町全体の公共施設整
備の観点から検討していく。

調節池の事業計画は

問 中川調節池事業の進捗状況につい
て伺う。さらに今後の事業計画につい
ても併せて伺う。

まちづくり課長 地元説明会を開催
し、用地の取得を進めている。8月末
時点の用地取得率は面積ベースで約50
パーセントとなっている。事業計画に
ついては、用地取得を進めるとともに、
まとまった用地の取得ができれば工事
に着手できるよう努めていく。

問

町体育館等の跡地を送迎などの駐
車スペースに活用できないか

答

駐車場としての活用は可能と考えて
いる



川島 邦彦 議員



問 解体撤去した「酒々井小学校プー
ル」「町体育館」の跡地利用について、
学校イベントや送迎などの駐車スペー
スとして確保できないか。

くども課長 イベントの際は駐車場と
して使うことは可能と考えている。

問 来年8月で使用停止となる学校給
食センターの撤去及び跡地利用計画を
伺う。なお、この跡地とプール跡地及
び生涯生活センターを合わせると相当
な面積となり、利用の柔軟性は高いと
考える。まちづくりでは、成田街道を
「まちの顔」として活性化を図る方針
であるが、交流人口の受け入れには駐
車場整備が不可欠である。街道の中心
に位置するJAの理解を前提に、駐車
場の代替地とした交渉も検討範囲では
ないか。

町長 十分検討してきた。

問 プリミエール隣の中央台公共用地
は45年以上、遊休地である。町の一等
地であり、利用計画があれば民間譲
渡など、町税の安定財源を検討すべき
ではないか。

生涯学習課長 中央台公共用地は、青

少年健全育成を中心とし、町民の健康
保持増進を図ることを目的にスポーツ
少年団等に使用を許可しており、重要
な場所と考えている。また、災害時に
は、仮設住宅建設用地にもなっている。



中央台公共用地

問 酒々井中学校の校庭拡張計画は、
サッカー部と野球部が重なる危険を回
避するためと理解するが、事業停滞の
理由は何か。

くども課長 現在、用地購入の内諾を
得ている案件はないが、令和5年度に
グラウンドの安全性確保や利便性向上
を図るため、旧テニスコートとサッカ
ー練習場の間にあるユリノキの伐採を
行った。今後は財政状況を考慮しなが
ら計画の推進に努めていく。

問 町道021-009号線の電柱撤去はいつ完了するのか

答 9月中に撤去予定と電気事業者より聞いている



問 公民館内の「酒々井まちづくり研究所」の初年度から8月末までの利用実績を伺う。

くらし安全協働課長 文書保存期間が過ぎて資料が残っていないため、詳細は不明だが、当時の職員から月1回、半日程度活動していたと聞いている。

問 「下宿ベース」の取得金額と整備費用を伺う。また、初年度から8月末までの利用実績と、ひと月の維持管理費を伺う。

くらし安全協働課長 土地、建物の取得費が1499万948円、改修費用等が860万7500円、利用実績は36件、249人、月に係る費用は警備費等で月平均1万6104円となる。

問 旧助吉五郎邸の白壁は崩れているが、補修はしないのか伺う。

文化観光課長 今年度の予算でできる限りの補修を行う予定である。

整備等)の始まりはいつからか伺う。

まちづくり課長 平成24年度から歩道整備、平成27年度から無電柱化事業を実施し、朝日橋の拡張工事は平成30年度から計5回入札不調となっている。

問 電柱撤去開始と終了年月日を伺う。

まちづくり課長 8月末より順次撤去を進めており、9月中に撤去する予定と電気事業者より聞いている。

問 歩道舗装工事入札日と工期を伺う。

まちづくり課長 9月に公告し、10月中の契約を予定しており、12月末までの工事完了を目標としている。

問 歩道に勾配などを考慮すると水が溜まると思うが、対処方法を伺う。

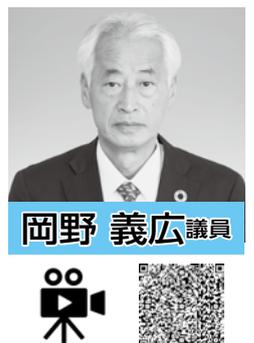
まちづくり課長 道路側に排水勾配を設ける計画であり、宅盤との調整が必要な場合には、地権者と調整していく。

問 乗り上げブロックは撤去予定だが地権者との打合せは終了しているのか。

まちづくり課長 地権者のご意向を伺い、ブロックを撤去したうえで、塗装をすりつけることをお伝えしている。工事着手にあたり、再度ご説明に伺う予定である。

問 災害時の対応としてトイレトレーの配備を検討できないか

答 導入事例などを参考に情報収集を行い、検討していく



問 災害時のトイレは、人間の尊厳、健康、犯罪とも密接に関係する重要な問題である。長期間の避難所開設で下水道が使えない状況が続いた時の対応として、トイレトレーの配備を検討できないか伺う。

副町長 避難所におけるトイレは、水、食料の次に重要なものと言われている。導入事例などの情報収集を行い、検討していく。

バス大幅減便、事前協議はあったのか

問 4月に、ちばグリーンバスのダイヤ改正で本佐倉線的大幅減便があったが、京葉線のような一方的な申出により、ダイヤ改正が行われたのか、町に事前に協議等があったのか伺う。

企画財政課長 事業者より3月にダイヤ改正の情報提供はあったが、事前協議等の申し出はなかった。人件費や燃料費の高騰、利用者の恒常的な減少傾向など、さらにドライバー不足も重なる中で、路線廃止せずに運行維持するために最大限の企業努力をした結果として、やむを得ず減便に至ったことを確認している。

問 町に隣接する白銀ニュータウン線は、京成佐倉駅発22時台は4本、21時台は3本ある。これらの便を1本でも2本でも酒々井町へ来る系統にする要望ができないか伺う。

企画財政課長 今後、要望していきたい。

軽量ランドセルの無償配布を

問 ランドセルが重く、子どもが心身に不調をきたすことがないよう併せて家計の負担を軽減するために、軽量ランドセルの無償配布ができないか伺う。

学校教育課長 ランドセルの背負い方や収納の仕方等については、昨年12月議会の岡野議員による質問を受け、保護者あての文書を発出するとともに、学校に対して指導依頼を行った。軽量ランドセルの配布については、他市町村の状況を注視しつつ、検討していく。



問 県に「墨入口交差点」の右折レーン設置要望を

答 早期の着手を望んでいる
さらに県に要望していく



金塚 学 議員



問 千葉県印旛土木事務所に対し、「墨入口交差点」の右折レーン設置に必要な予算の確保と工事の早期着手について、議会と連携をした要望について町の考えを伺う。

町長 町も早期の事業着手を望んでおり、用地交渉などの課題に積極的に協力し、さらに千葉県に要望していく。

歯科検診の対象者拡大を

問 成人歯科検診は40歳からとなっているが、高校卒業後（19歳以上）から受けられるようにするべきと考えるが町の考えを伺う。

健康福祉課長 高校卒業後からの歯科検診については、今後、健康プラン中間評価アンケートの調査結果等を注視し、検討していきたい。

問 中学生における歯肉の炎症所見を有する生徒の割合が県平均より高いが学校教育の場で歯と口腔の健康づくりの指導を推進するべきと考えるが伺う。
学校教育課長 学校の教育課程は各小中学校長が定めることになっているが、児童生徒の健康増進のため、より充実した指導の推進が各学校で図られるよう

依頼していく。

グリーンスローモビリティの導入を

問 駅から東酒々井・ふじき野地区のみの極めてコンパクトな路線を走るグリーンスローモビリティの導入を提案するが、町の考えを伺う。

企画財政課長 グリーンスローモビリティは狭い道路でも走れる等のメリットもある一方で、バッテリー容量が小さく、広範囲での運行が難しい等のデメリットもあるので、先進自治体の導入状況等を調査し、町にとってより良い方策をさらに研究していきたい。

水田風景を守るための方策を

問 今後、町の農業事業者がどのように継続していくことで収益性の高い農業が継続し、町の魅力である水田風景を守ることができると考えているのか。

経済環境課長 現在農地の将来計画となる地域計画の策定をしている。農業経営者へ各種支援を行っているが、農地の集約化や法人化に力を入れることで、収益性の高い農業を実現し、継続させていくことが、魅力ある酒々井の原風景を守ることになると考えている。

問 生活保護世帯のエアコン設置状況は

答 概ね設置されている



地福 美枝子 議員



生活保護世帯のエアコン設置状況について伺う。

問 受給世帯の設置状況、設置していない世帯への対応は。

健康福祉課長 実施機関である印旛健康福祉センターに確認したところ、エアコンは概ね設置されており、設置されていない場合は、保護費のやり繰りによって購入してもらうため、購入意向を確認し、家計管理に係る助言指導を行っていると聞いている。

問 設置費用や電気料金の補助は。

健康福祉課長 平成30年度に制度改正があり、以降、新たに生活保護が開始された際に、一定条件を満たす場合、冷房器具購入費と設置費用の支給が認められている。電気料金は毎月の生活保護費の中から支払うことになる。

問 町独自の補助はできないか。

健康福祉課長 生活保護制度は、全国一律で運用されるものであることから、町独自で生活保護世帯のみを対象とした制度を創設することは難しい。

問 国・県への要望は。
健康福祉課長 実施機関である印旛健

康福祉センターに伝える。

介護保険制度改悪が議論されている

問 利用者に対する国の制度改悪案が出されているが、保険料を引き上げた町は、どのように考えているのか。

健康福祉課長 国で改正案が議論されたが、見送られた。国の動向を注視し、影響等の把握に努めていきたい。

問 全国で訪問介護事業所が閉鎖される状況にあるが、実態と課題は。

健康福祉課長 訪問介護事業所の閉鎖理由として、職員の高齢化による退職で人手不足が原因と聞いている。

学校給食費の無償化を

問 すべての児童生徒の学校給食の無償化に必要な予算額は。

学校教育課長 約6000万円となる。富里市との共同調理によって軽減される額は。その予算は学校給食に使ってほしい。また、今後の無償化について、どのように検討しているのか。

学校教育課長 縮減効果は両市町で2000万円と試算している。令和8年4月から中学生の学校給食費無償化を町長が表明している。

こども模擬議会代表者に

聞きました

- ①町にどんな提案をしましたか？
- ②町の好きなところや今後どのような町になってほしいですか？
- ③こども模擬議会に参加してどうでしたか？

- ①最近、日本に移住する外国人が増えているので、外国人が住みやすい町にしているか、どんな工夫があるか質問をしました。
- ②外国人も住みやすい町にしていきたいです。そのために、僕もなるべく協力していきたいと思います。
- ③すごく緊張しましたが、自分なりに上手くできました。



やまきけんのすけ
八牧 顕之介さん

- ①酒々井町の生活困窮者への支援が確実に町民へ行き届いているのかが質問をしました。
- ②子どもの意見も真剣に聞いてくれることが嬉しいです。酒々井町の、一人一人が幸せでいる町になってほしいです。
- ③とても緊張しましたが、でも、酒々井町のために自分が意見を出せたのが嬉しかったです。



すぎやま はな
杉山 葉奈さん

- ①町民の美化意識をより高めるために広報活動や、地域美化活動の計画についての質問をしました。
- ②私は、酒々井町の昔からの伝統や風景が好きなので、今後もそんな酒々井のいいところを守り続けてほしいです。
- ③今回議員として議会に参加させていただいたことで、酒々井町への関心が高まりました。



やまぐちひなの
山口 陽菜乃さん

- ①田尻さんは議長なので質問をしていません。
- ②酒々井町の小中学生をはじめ、多くの人により優しい町になってほしいです。
- ③今回議長をやらせていただき、酒々井町について様々な意見が出て、住みやすい町にしていきたいという思いを強く感じました。多くの人が町の行政に携わっていることを知ることができました。



たじりえいと
田尻 瑛人さん



10月16日、こども模擬議会が議場で開催され、各学校から選ばれた小学生4名、中学生5名の合計9名の代表者が出席し、議長以外の8名が登壇してまちづくりプランの提案を行いました。



委員長	御園生 浩士
副委員長	小坂 和也
委員	金塚 和也
委員	小早稲 美穂
委員	木内 信子
委員	綿貫 薫

大谷翔平選手がワールドシリーズを制覇！来年は二刀流復活の期待！と来シーズンの「ショータイム」が楽しみです。初冬に入り、皆さんも来シーズンに備えて、うがい、手洗いの二刀流で体調管理を。

編集にあたって

次定例会のお知らせ
12月定例会のお知らせ
次の定例会は、12月3日に開会する予定です。
会期の予定は、11月22日に開催予定の議会運営委員会でも決まります。会期等は町ホームページでお知らせします。
詳細は、議会事務局にお問い合わせください。
（496）1171
（内線251・252）

12月定例会のお知らせ